

令和2年度 事業報告

川崎市麻生区社会福祉協議会

(社会福祉法人川崎市社会福祉協議会麻生区支部)

目次

	頁
重点事業	1
1 麻生区社会福祉協議会運営事業	2
2 調査・研究事業	3
3 研修事業	3
4 企画・広報事業	3
5 地域福祉活動事業	4
6 団体等助成事業	5
7 委員会活動事業	5
8 共同募金事業	6
9 福祉パル管理運営事業	7
10 生活福祉資金貸付事業	7
11 ボランティア活動振興事業	8
12 日常生活自立支援事業	10
13 老人いこいの家運営等事業	11
14 老人福祉センター運営事業	11
15 公益事業	12
16 災害活動関連事業	12
17 団体事務	12
18 その他	12

令和2年度 事業報告

◆重点項目

1 区民の福祉への理解を促進する福祉啓発の推進と社会福祉協議会の広報・啓発の強化

広報啓発委員会による福祉啓発事業の実施や学校における児童・生徒を対象にした福祉教育の支援等に取り組むとともに、各種広報紙の発行やホームページを運営しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、啓発イベント等を中止せざるを得ない状況下でも、広報紙の配布については、業者委託によるポスティングや区内新聞折り込みを活用した広報方法の工夫を図り、福祉情報の発信に努めました。

2 地区社会福祉協議会を中心とする住民主体の小地域福祉活動の支援及び地域包括ケアシステムの構築に向けた地域力向上の取り組み

地区社協の自主的・主体的な活動と運営の充実・発展のため、地区社協の役員等と共に考え、地区社協支援を行いました。特に今年度はコロナ禍を受け、様々な小地域福祉活動の休止が続く中、「つながりを絶やさない」ための事業実施に創意工夫を凝らし、活動再開に向けた感染防止対策に関する情報提供や連絡調整を随時行いました。

3 ボランティア活動振興センター事業（福祉教育を含む）の充実強化

今年度は、オンライン開催による「はじめてみよう！ボランティア2020（基礎講座）」を実施し、コロナ禍における区内福祉施設でのボランティア活動の現状や意見交換から、今後の新しい生活様式をふまえた麻生区内におけるボランティア活動の展望について考える機会となりました。福祉教育推進については、オンライン活用や感染防止対策のもと福祉機材貸出に対応しました。

4 賛助会員増強の取り組みと区社協財源の確保

賛助会費は、麻生区内の小地域福祉活動を支える貴重な資金であることから、新型コロナウイルス感染拡大防止もふまえ、町内会・自治会のご理解のもと、従来の強化月間を変更し賛助会員の募集を行いました。令和4年度以降の募集方法は令和3年度の実施方法を検証し検討することとなりました。

5 今後の麻生区社会福祉協議会のあり方についての検討

今年度はコロナ禍により、区社協事業も中止や自粛を余儀なくされ、さらに生活福祉資金特例貸付業務の増大は、市社協と区社協の法人合併後の区社協事業推進に多大な影響をもたらしました。

今後、区社協が地域に根差した地域福祉事業に注力し、住民主体の課題解決に向けた取り組みを強化するために、コロナ禍における住民の生活様式をふまえた財源確保策とその合理的・効果的な活用方法、経営基盤の強化について、次年度も継続して検討を進めてまいります。

事業報告の内容

麻生区社会福祉協議会 事業費【46,541千円】

【サービス区分事業活動支出41,236千円】

【共同募金配分金 5,305千円】

1 麻生区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、正副会長会議、運営協議会の開催

ア 常任委員会の開催 4回

(5月19日※書面開催、8月24日、12月10日、2月18日※書面開催)

イ 正副会長会議の開催 4回

(5月11日、7月10日、12月1日、2月9日)

ウ 運営協議会(会員意見交換会)の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止(書面報告)

(2) 種別会員会議の開催

令和3年5月31日をもって任期満了を迎える区社協の常任委員会・委員会の委員候補者選出に向けた種別会員会議については、コロナ禍により令和3年4月以降に書面にて開催することになりました。

(3) 賛助会員募集

2月を賛助会員募集の強化期間とし、町会・自治会等の協力を得て、区社協・地区社協の趣旨や活動に賛同し、支援をしていただける賛助会員の増強に努めました。

賛助会費は、1口1,000円を基本とし、協力をいただきました。

令和2年度募集	賛助会員数	金額
実績合計	3,182名	6,203,660円
麻生東地区	1,598名	2,660,900円
柿生地区	1,584名	3,542,760円

(4) 寄託金

令和2年度一般寄附 364,896円 (寄託品で決算上金銭換算したものを除く)

(5) 寄託品

ア 令和2年度寄託品 車椅子 1台

イ マスク回収事業

新型コロナウイルスの影響による深刻なマスク不足を受け、令和2年5月26日から9月30日まで、福祉パルあさお内に「マスク回収BOX」を設置し、未使用のマスクを集め、必要としている福祉施設や保育施設に川崎市社会福祉協議会を通じて配布しました。

合計6,045枚

内訳 政府支給マスクを含む布マスク1,455枚

子ども用を含む不織布マスク4,281枚

手作りマスク 279枚
ウレタンマスク 30枚
他、インナーマスク・取り換えシート 110枚、医療用ガーゼ 10mご寄付を
いただきました。

(6) 各事業の効果的な連携（総合相談支援）

ボランティア相談、日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付事業等の相談の他、福祉にかかわる様々な相談等、支援を必要とする方への総合的な相談支援を区社協の各部署や行政、相談機関と協力連携して対応しました。

2 調査・研究事業

(1) 第4期麻生区地域福祉活動計画の策定

令和3年度から令和5年度の3年間を計画期間とする「第4期麻生区地域福祉活動計画」を策定しました。

麻生区地域福祉活動計画推進委員会 3回（7月29日、11月25日、1月29日※書面開催）

3 研修事業

(1) 区社協常任委員研修の開催

1回（2月19日）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催日	場 所	内 容	参加者数
令和3年 2月19日 開催中止	新百合21ビル 多目的ホール	高齢夫婦の日常を記録したドキュメンタリー映画「幸せな時間」の上映	—

4 企画・広報事業

(1) 第16回麻生区社会福祉大会の開催（隔年実施）

2月19日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

本会では、地域福祉の発展に貢献していただいた方々の功績を表彰するとともに、区民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる「人にやさしいまちづくり」の実現に向け、麻生区社会福祉大会を開催してきました。これまでの大会の企画・運営は、あさお福祉まつり実行委員会合同の実行委員会を設けていましたが、今年度は新型コロナ感染症拡大防止により、あさお福祉まつりの開催が中止となったため、麻生区社会福祉大会のみ単独で開催する予定でしたが、長引くコロナ禍の影響を受け中止しました。受賞者には表彰状と記念品を郵送にて送付しました。

(2) 第31回あさお福祉まつり事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

麻生区からの委託事業「麻生区地域課題対応事業」である第31回あさお福祉まつりは、区内

の福祉活動に関わるボランティア・当事者・施設・団体の活動を広く区民に周知し、区民の福祉への理解と関心を高めることを目的に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により開催を中止しました。

(3) 広報啓発委員会の開催

4回（5月※書面開催、8月27日、12月16日、2月※書面開催）

(4) 「親子福祉探検隊」の開催

新型コロナウイルス感染の影響により、安全の確保が難しい状況ため、開催を中止いたしました。

(5) 「福祉啓発映画会」の開催

令和元年度に開催を中止した「幸せな時間」の映画上映について、麻生区社会福祉大会の第2部として予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染の影響により、開催を中止いたしました。

(6) 広報紙「ほほえみ」の発行

新型コロナウイルスの影響により、年間2回の発行に変更し、配布については、75号は業者委託によるポスティング、76号は新聞各社の折り込みで配布いたしました。

(7) ホームページの管理運営

区社協ホームページにより、区民に向けて、福祉団体のボランティア募集情報、地域の福祉情報、社会福祉協議会の事業などについて、随時発信しました。

(8) こどもや若い世代への福祉啓発

ア 「あさお区社協こども新聞」（令和元年度発行）の配布（9月、区内公立小学校全学年児童）
イ アンケート調査実施 1回（協力：岡上小学校の5年生6年生）

地域福祉やこども新聞についてのアンケート調査を実施しました。第3回広報啓発委員会にてアンケート結果の分析を行い、今後のこどもや若い世代への福祉啓発について検討を行いました。

(9) 地域のイベントへの参加協力

ア あさお区民まつり ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
イ 認知症普及啓発イベント「RUN 伴+」実行委員会への参加協力

5 地域福祉活動事業

(1) 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の推進は、活動の主たる担い手である麻生東地区社協、柿生地区社協の運営を支援し、地区社協による主体的な活動が促進されるように働きかけを行いました。

(2) 関係団体・機関等との連携、各会議等に参加

区役所、福祉施設、地域包括支援センター及び教育機関等が主催する各委員会、会議に参加しました。

(3) 車椅子・福祉用具の貸出事業の実施

- ア 車椅子の貸出（件数） 181回
- イ 福祉器具の貸出（件数） 228件

(4) 移送サービス事業の実施

区内在住で、車椅子利用や歩行困難などにより移動が困難な方に対して、外出の機会や社会参加を支援するため、福祉車両「キューちゃん号」による移送サービス事業を実施しました。本事業は、令和2年4月に川崎市社会福祉協議会と合併したため、川崎市社会福祉協議会麻生区支部として道路運送法による福祉有償運送登録のうえ実施しています。

- ア 賛助会員数 15名
- イ 運転ボランティア登録数 12名
- ウ 利用件数 68件
- エ 運営委員会の開催 1回（3月9日）
- オ 運転ボランティア定例会の開催（奇数月開催）6回
（7月31日、9月18日、11月6日、1月15日、3月19日）

6 団体等助成事業

(1) 地域福祉活動への助成

- 麻生東地区社協 2,102,280円
- 柿生地区社協 2,827,522円

(2) ボランティアグループ等活動助成事業

地域のボランティアグループや当事者団体の自主的な活動を支援するため、その活動に対して必要経費の一部として助成金を交付しました。

29団体（計758,800円）

- (3) 高齢者ふれあい活動支援事業への助成 11団体（1,688,000円）

- (4) 社会を明るくする運動への助成 50,000円

7 委員会活動事業

(1) 在宅福祉サービス事業

「みんなでささえあう、暮らしやすいまちづくり」の実現に向け、地域包括ケアシステムの構築を見据えて、地域が抱える生活課題に対して、地域住民が自ら取り組んでいけるよう、地域のつながりを深め、お互いに顔の見える関係を築き、ささえあい、助け合うことができる地域力の向上を目指して事業を実施しました。

- ア 在宅福祉サービス委員会の開催 4回
（5月25日※書面開催、9月4日、11月17日、1月29日※書面開催）

- イ 地域の関係づくりの大切さを考える講演会の開催
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ウ 地域でともに生きるを考える懇談会の開催 1回
(3月2日※オンラインと会場視聴で開催)
- エ 在宅福祉サービス委員会 委員会研修
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 広報啓発事業 (再掲)

区民へ地域福祉の広報啓発を図り、福祉活動への積極的な参加を呼びかけました。

(3) 子育て支援事業

子育てにおける悩みや課題に対し、アドバイスをを行う講座や講演会を開催するとともに、地域における子育て中の親・子を支援する体制づくりなどについて、子育て支援委員会で協議・検討を行いました。

- ア 子育て支援委員会の開催 4回
(6月4日※書面開催、7月7日、9月1日、2月16日※書面開催)
- イ 子育て支援講座の開催
 - ①「ペアレントトレーニング『見直してみよう～うちの子って…～』 4回
(10月16日、11月20日、12月25日、1月15日)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - ②「ペアレントトレーニング」参加者交流会 1回(9月28日)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - ③ 子育て関連グループ交流会の開催
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - ④ 子育て支援講演会の開催
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - ⑤ あさお子育てフェスタへの参加
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

8 共同募金事業

(1) 神奈川県共同募金会川崎市麻生区支会の実施する共同募金運動への協力

(2) 共同募金の配分金事業の実施

ア 年末たすけあい配分事業

年末たすけあい運動により寄せられた募金の配分について、区社協に配分委員会を設置して、支援を必要とする高齢者世帯及び障害者世帯を対象に、申請に基づいて見舞金を配布しました。

配分世帯 424世帯 配分実績額 2,120,000円

イ ボランティア・当事者連絡会への支援(活動育成費の交付) 200,000円

ウ あさおおもちゃとしょかん運営事業

障害を持つ子ども、持たない子ども、おもちゃを通じてともに遊び、豊かに育つことを目的に運営を行いました。なお、4・5月の活動とおもちゃ貸出については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

開館回数 38回
利用者数 300人
運営ボランティア数 延べ230人

次のエ～コは、財源の一部について共同募金配分金を受けて行いました。

エ 助成事業（再掲）

小地域福祉活動の担い手である地区社協に対し、育成交付金として交付し、継続的な支援を行いました。（共同募金配分金から、麻生東地区社協へ 380,000 円、柿生地区社協へ 520,000 円）

オ 区社協運営事業（再掲）

カ 在宅福祉サービス事業（再掲）

キ ボランティア活動振興事業（再掲）

ク 広報啓発事業（再掲）

ケ 子育て支援事業（再掲）

コ 移送サービス事業（再掲）

9 福祉パル管理運営事業

川崎市から受託した活動拠点「福祉パルあさお」の管理運営を行いました。

今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各定員を大研修室 20 人、小研修室 7 人、フリースペース 12 人とし、コロナ禍における川崎市行政運営方針に基づいて開館しました。尚、新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付事業実施のため、小研修室については一定期間利用を中止しました。（4月11日～12月28日まで）

※平成 23 年度から、大研修室〈定員 40 人〉と小研修室〈定員 15 人〉の 2 つの研修室の貸出しを行っています。

※緊急事態宣言発出による全館利用中止（4月11日～6月30日）

※大研修室、フリースペースの利用再開（7月1日～但し、年内の夜間、土日は休館）

（1）研修室、フリースペースの貸出

ア 大研修室利用状況	243件（2,649人）
イ 小研修室利用状況	39件（113人）
ウ フリースペース利用状況	249件（1,024人）

（2）フリースペースのパネル展示・掲示スペース貸出（件数）

60件（5団体）

10 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯で経済的問題を抱える世帯に対し、各種資金の申込みを受けるとともに、借受世帯への償還などにかかわる相談支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付の相談・申請対応を行いました。

（1）相談件数 9,152件（延べ件数）

（2）新規相談件数 50件

(3) 貸付申請件数 12件

(4) 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付 申請件数2,644件(延べ件数)

(5) 事務管理終了

償還完了	総合【2】 教育【2】 緊急小口【6】	10件
移管		0件

(6) 貸付調査委員会の実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

1.1 ボランティア活動振興事業

区民の福祉についての高揚と区内ボランティア活動の効果的な振興を図ることを目的とし、各種事業を実施しました。

(1) ボランティア活動振興センター運営委員会の開催

4回(5月25日※書面開催、8月5日、11月26日、1月8日※書面開催)

(2) 麻生区ボランティア養成講座の開催

ア はじめてみよう!ボランティア2020(基礎講座)

1回(3月17日※オンライン・会場視聴にて開催)

イ フォローアップ交流会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ウ ステップアップ講座

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ 麻生区ボランティアのつどい(交流会)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

オ ボランティア専門講座(田園調布学園大学主催)への協力

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 学生のための夏休み福祉・ボランティア体験学習「チャレボラ2020」

(市社協・各区社協等との共催事業)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) ボランティアコーディネート委員会の開催

ボランティアコーディネート体制の充実のため、ボランティア活動振興センター運営委員会の中に、「ボランティアコーディネート委員会」を設置し委員会を開催しました。

1回(8月17日)

(5) ボランティア受け入れ担当者向け講座

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(6) ボランティア相談コーナーの開設

毎月第1、第2、第3火曜日の午後1時から3時の間、月に3回、そのうち、第1火曜日は、麻生区役所ロビーにてボランティア相談コーナーを実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

(7) ボランティア受入状況などの現状把握するための取組

新型コロナウイルス感染症拡大している中、福祉施設がボランティアを受け入れているのか、また受け入れているのであれば、どういった形で行っているのかについてアンケート調査を行いました。

麻生区社会福祉協議会会員の福祉施設を対象に50施設に依頼し、38施設から回答にご協力いただきました。

(8) ボランティア相談事業 (来所・電話・相談コーナーを含む)

令和2年度 ボランティアの依頼状況・調整状況

- ① ボランティア依頼 (ボランティアしてほしい) 13件
- ② ボランティア活動希望 (ボランティアしたい) 25件

(9) 広報紙「ぼらぼら」・情報紙「ぼらぼら広場」の発行

ア 広報紙「ぼらぼら」の発行

広報紙ほほえみの紙面を活用して発行しました。 2回 (11月、3月)

イ 情報紙「ぼらぼら広場」の発行

新型コロナウイルス感染症拡大により福祉施設等のボランティア受入募集が少ないため、3月以降は不定期の発行としました。

号数	掲載内容
第102号 (1月発行)	・ボランティア情報8件

(10) 福祉教育の推進

ア 福祉教育推進委員会の開催 2回 (8月18日、1月26日※書面開催)

イ 福祉学習申込みに関する相談・紹介・調整状況

①申込件数 19件 (延べ件数)

内訳：小学校14件 中学校5件

本申込を通じて話を聞いた方・体験した方 1,934人 (延べ人数)

②内容 障害当事者等の講演・講習、車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、講師派遣及び体験受入団体の調整、物品貸出等 (今年度はオンラインを活用した聴覚障害者の講演、手話体験を行いました)

ウ 小学校・中学校・高校の先生との福祉教育についての懇談会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ 福祉教育推進委員会委員研修

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

オ 福祉教育に関わる広報啓発

「あさお区社協こども新聞」(令和2年3月発行)を広報啓発委員会と作成し、区内の学校に

配布しました。

(11) 相談窓口設置機関（麻生市民館・やまゆり・社協）の連携強化

平成28年度に麻生区役所（麻生市民館）、NPO法人あさお市民活動サポートセンター（やまゆり）と麻生区社会福祉協議会が協力して、区内で活動している市民活動団体の情報を一元化し立ち上げた麻生区市民活動団体検索サイトの広報、周知に協力しました。

1.2 日常生活自立支援事業

区内に在住する判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等の権利擁護を目的とした日常生活自立支援事業を川崎市社会福祉協議会から委託を受け、麻生区あんしんセンターとして平成20年度から実施しています。

(1) 組織体制

所長（事務局長兼務）1名、専門員2名、生活支援員6名の体制で運営しています。

(2) 事業実績

- ア 契約能力判定審査会の出席（6回実施、内2回は書面開催）
- イ 業務監督審査会の出席（6回実施、内2回は書面開催）
- ウ ケース検討会議の出席（33回実施、全て電話またはリモート会議）
- エ サービス実施状況及び利用実績
 - ①福祉サービス利用援助サービスの実施
 - ・福祉サービスの情報提供・助言
 - ・福祉サービスの利用手続き
 - ・福祉サービスの利用料の支払い
 - ②日常的金銭管理サービスの実施
 - ・生活費の出金など、金銭の出し入れの手続き
 - ・家賃や公共料金、医療費などの支払い手続き
 - ③書類等預かりサービスの実施
 - ・定期や定額等の預貯金通帳の預かり
 - ・証書の預かり
 - ・株券を除く有価証券の預かり
 - ・印鑑の預かり
 - ④令和2年度サービス等実施実績（詳細は別表）
 - ・相談件数 3,389件（新規57件、継続3,332件）
 - ・サービス契約者数（令和2年度3月末の継続利用者数）
福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス 67件
書類等預かりサービス 5件
- オ 成年後見等、各種問い合わせの受付・対応
- カ 関係機関との連携及び連絡調整
 - サービス担当者会議、ケアカンファレンス等への出席（28回）

キ 生活支援員及び専門員研修の参加

1.3 老人いこいの家運営等事業

麻生区内7館の老人いこいの家の指定管理者として、地域の高齢者が健康で生きがいのある豊かな生活が送れるように、施設（各部屋）の利用をはじめ、教養講座や行事を開催し、高齢者の活動を支援しました。

また、各老人いこいの家の運営委員会と連携し、施設の適正な管理運営を行うとともに、地域福祉活動の拠点としての有効利用に努めました。

(1) 指定管理事業

ア 老人いこいの家の運営委員会の開催

- ①王禅寺老人いこいの家 1回（3月23日）
- ②片平老人いこいの家 1回（10月19日）
- ③千代ヶ丘老人いこいの家 1回（9月30日）
- ④白山老人いこいの家 1回（11月30日）
- ⑤岡上老人いこいの家 1回（12月9日）
- ⑥麻生老人いこいの家 2回（10月9日、3月12日）
- ⑦百合丘老人いこいの家 2回（7月29日、12月7日）

イ 老人いこいの家管理人連絡会議・研修会の開催

- ①普通救命講習Ⅰ・救命処置実技（心肺蘇生とAED）：川崎市消防防災公社主催
4回（8月2日、11月14日、1月24日、3月24日） 計29名参加
- ②いこいの家管理人連絡会議
2回（11月27日午前・午後） 計21名参加
- ③いこいの家代替臨時職員研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2回（3月3日・4日）

ウ 令和2年度利用状況 開所日数合計1,610日 利用人数合計37,219人

エ 令和2年度入浴事業利用者の状況 利用者数合計2,510人（3館分）

(2) ミニデイサービス事業

川崎市からの委託により、片平老人いこいの家において地域の高齢者を対象としたミニデイサービス事業を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

1.4 老人福祉センター運営事業

地域の高齢者が健康で生きがいのある豊かな生活を送れるように、各種の講座・健康相談や地域の拠点施設としての運営を行いました。

- (1) 令和2年度 利用状況 利用者数 18,607人
- (2) 各種講座等実施状況 参加者数 2,312人

(3) 各種行事実施状況 実施数 15 行事 参加者数 516 人

(4) 健康保持増進事業・機能回復訓練実施状況 実施回数 54 回 参加者数 741 人

(5) 各種相談実施状況

健康相談 〈内科〉 第1・3水曜日 3件、〈整形〉 第2・4火曜日 24件

1.5 公益事業

川崎市からの委託を受けて、市営・民営バスに乗車する「川崎市高齢者フリーパス」を交付及び販売することにより、高齢者の社会活動への参加を促進し、高齢者の福祉の増進を図りました。

交付枚数 計 667 枚

1.6 災害活動関連事業

平成29年度川崎市総合防災訓練が麻生区での開催だったことをきっかけに、行政、市社協をメンバーに、麻生区災害ボランティアセンター設置運営について検討しました。

今年度より、災害ボランティアセンターの設置・運営に限定せず、麻生区の災害ボランティアについて広く検討できるよう、会議名称を「麻生区災害ボランティアに関する連携会議」と変更しボランティア活動振興センター内に設置しました。

(1) 麻生区災害ボランティアに関する連携会議の開催 1回（3月24日）

(2) 麻生区総合防災訓練への参加

開催日 令和2年6月6日（土）

会場 はるひ野小・中学校

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

1.7 団体事務

関係団体事務局として、団体運営・活動に支援協力しました。

(1) 神奈川県共同募金会川崎市麻生区支会への協力

(2) 麻生区民生委員児童委員協議会

(3) 関係団体の事務協力

(4) 麻生区賀詞交歓会の共催

令和3年麻生区賀詞交歓会 正副会長会議（10月29日開催）にて中止を決定。

1.8 その他

その他、地域福祉推進に必要な事業を実施しました。